

Perspektiven

Thesen und Positionen
Wahlleistungen fehlen **1337**

Technik

Blüml, M./B. Dörfler: Die Indika-
tionsvielfalt einer neuen Gold-
Titan-Legierungsgeneration **1399**

Wall, Dr. G.: Einstückgußprobleme
bei teleskopierendem Zahnersatz
1407

Silvestrelli: Festsitzend oder heraus-
nehmbar? Substanzverlust kann
durch keramisches Zahnfleisch
kaschiert werden **1419**

Lotz, H.-J.: Inlay- und Onlay-
versorgungen **1423**

Dorn, H.-J.: Der konfektionierte
Riegel MK I und der Doppel-
kronen-Einstückguß **1435**

Patente **1473**

Fortbildung

Bücher für Sie gelesen von H.H.C.
1448

Ausbildung

Caesar, H. H.: Kapitel 6: Modelle
für festsitzenden Zahnersatz **1456**

Leier, K.: Kapitel 7/11: Das
Ankerbandgeschiebe **1451**

IZK

Direktabrechnung keine
Zahntechnikererfindung **1347**

Innung Berlin-Brandenburg:
PR-Ideenwettbewerb **1348**

Kuratorium: Festzuschuß
erhält Wahlfreiheit **1348**

Private Krankenversicherung:
Neue Urteile zur Abrechnung **1348**

Runder Tisch ersetzt
Vorstands-Gespräche **1348**

Zahntechniker wehren sich
gegen Anschwärzung **1352**

Journal

Auf gemeinsamem Weg
zum Konsens **1357**

Japan zu Gast in Dreieich **1367**

Ökonomie und Ökologie in
Einklang bringen **1368**

International

Sand ausverkauft—Deutschland
und Italien auf gutem Weg **1382**

In Österreich kosten Kronen
richtig Geld **1382**

Bregenz: Zahnärzte-Kongreß
und Dentalmesse **1382**

USA: Gen-Manipulation gegen
Zahnkaries **1382**

Betriebsführung

Qualitätsmanagement schafft
Vorteile—Erfahrungsbericht
eines Laborbesitzers mit der
Zertifizierung **1392**

Namen

Personennachrichten **1377**

Firmennachrichten **1377**

Termine

Kurse **1491**

Kongresse **1504**

Industrie

Neuheiten—Geräte —
Materialien **1406**

Letzte Meldungen

Frontzähne in Perfektion **1532**

Fachdental im Oktober in
München **1532**

Tischtennis: Dental-Cup in
Göttingen **1532**

Gesucht: Meister für Fachkunde
in München **1532**

Fortbilden und Feiern: Tanaka
lädt ein nach Bad Homburg **1532**

Noch drei Plätze frei in SDS-
Meisterschule in Stuttgart **1532**

Impressum **1344**

Dieser Ausgabe ist eine Teilbeilage
"Fachdental" für den Postleitzah-
lenraum
8 sowie eine Gesamtbeilage der
Firma
"culture step" beigelegt

第三次医療保険改正に向けた歯科補綴に関する見解意見文がドイツ連邦保険歯科医連合より『歯科補綴六箇条』として提出され、dental labor/1996年8月号にも掲載されたことにより、歯科技工界ではさまざまな議論を呼んでいる。テーマの進行上その概要を下記する。

- 項目1：歯科補綴分野における責任問題は歯科医師の管轄とは切り離して歯科技工士に委ねる
- 項目2：歯科技工報酬システムはマーケティングメカニズムに沿うべきであり、統一的高報酬を行使することはこれに反する
- 項目3：歯科医師人口：歯科技工士人口との割合と歯科医診療報酬(3)：歯科技工士コスト(7)の比率を国際的レベルに引き戻す
- 項目4：院内ラボは画期的、かつ、経済的な診療サービスをもたらす
- 項目5：歯科医師と患者が団結し、破格の経済的恩恵を受ける歯科技工業界を刺激し、過剰利益を汲みあげる
- 項目6：歯科補綴における保険給付金を歯科技工業に独立、還元し、これまでの定率制から定額制に改める

これに対し Dental labor/1996年9月号巻頭にて Dr. Lingenberg 氏が適確な見解文を記載したので概略して紹介する。

“歯科補綴分野における補綴物の成功という面から検討すると、歯科医師の補綴前準備、いわゆる治療段階でのそれに起因する可能性を考慮すると、適確に責任問題を分割するのは困難である。責任問題における管轄を分割すると仮定すれば、保険給付システムにおける歯科技工分野を新たに設置し、歯科技工補綴を独立採算定額制とし、患者自身、または患者の所属する保険会社から歯科技工報酬が支払われるシステムを確立すべきである。

特に、項目4、5については意見文の奔流が「価格競争」を示唆するののか、「クオリティの向上」に基本をおいているのか疑問が残る。歯科が医療として道徳的に正当な評価を受けるためには『歯科医療の質の向上』に基本をおき、歯科医師、歯科技工士が良きパートナーとしてもう一度歩み寄り、討論する機会を得なければならない”と述べている。

1998年1月に施行予定されている『ドイツ医療保険法改革』の行方は従来の定率性から定額リミット性へ移行すること、これに準じて歯科技工報酬リスト(BEL II)が廃止される。このほか、1998年6月14日より『医療製品規格規定法』が施行される。筆者の勤務するラボでは、新法に沿ったクオリティ・マネージメントを展開する目的で、各補綴物の使用材料および使用法(例えばクラウン製作における埋没材の混液比、金属の種類、鋳造法、適合状態、研磨状態など、セラモメタルクラウン製作時のセラミック材料の種類、焼成データ、色調、個性的表現、歯冠形態、表面性状、研磨状態など)を列記した『チェック・リスト』の記入とリストの5年間保管を義務づけている。

テクニック面では、Cendres & Métaux SAの生体親和性の高い金チタン合金(Au 98.2%, Ti 1.7%, Ir 0.1%)ながら、ピッカース硬さ210の高強度を有する万能金属合金が紹介され、ゴールテングートに続いて、単一合金による一口腔総合補綴が可能となった。

Ztm. Lotz氏は独自のインレー、オンレーテクニックを支台歯形成、作業用模型製作から研磨完成までを詳細に報告した。各作業工程における使用材料の種類、そしてその使用方法まで網羅した優れた論文である。

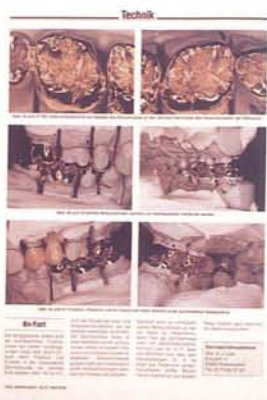
自家製リーゲルアタッチメントの製作は容易でないという観点から、Ztm. Dorn氏は既製リーゲルアタッチメント、MK 1を使用したコンビネーション義歯の製作法を紹介した。

連載のIDTマイスター学校のマイスター試験対策にあてた今回のテーマは自家製アンカーバンド・アタッチメントのミリング法の解説である。

押し迫る医療保険法改革を前にドイツ歯科医療界は大きく揺れている現状にあるが、われわれ歯科技工士が医療人として社会に貢献する為にも“物を作る”という基本的な心を忘れてはいけないと思う今日この頃である。



Die Indikationsvielfalt einer neuen Gold-Titan-Legierungs generation



Inlay- und Onlayversorgungen funktionell-präzise-ästhetisch



D. Shiraishi

デンタルテクニシャン。えっ、週40時間労働？週3日も休む国がある？そっそんなに時間があつたら、あれもしたいしこれもしたい…。最近転職した友人は時間が有り過ぎて何をやっていいのかわからない、といきいきした顔で言っていた。

No.1
今月のいちおし

歯科医院のホームページのすべてがここに！

NUMATA DENTAL CLINIC 沼田歯科

<http://www.ifnet.or.jp/~numata/>



歯科医院のホームページの中で一番親切な内容だと感じたのが仙台の沼田歯科医院のホームページだ。歯科関係者でもそれ以外の方でも「歯科」のことがとてもよくわかるようになっている。

まず驚いたのは「歯科医院のあの音」という所をクリックすると、子供のころ恐れていたあのタービンの音が…あ～やめてくれえ。

内容もとても充実し、それぞれ奥が深い。「あなたの虫歯危険度チェックします」のページでは「Yes, No」をクリックしていくと虫歯の危険度を教えてくれ、ありがたいアドバイスをいただける。

「Dental Clinic Map」のページを開けば全国の歯科医院にリンクの輪が広がっている。フリーソフトもダウンロードできる、保険でのブリッジ適否判定のソフトなどのソフトが数個掲載されている（Windows 95用）。メーリングリストも歯科関係者用と一般の用の2種類あるのもさすが。

アップルのメディカルホームページ
Apple Medical
<http://solution.apple.co.jp/medical/>

アップルコンピューターが開設しているメディカルホームページ。

最近、Windowsの勢いに押されすっかり少数派になってしまったMacだが、メディカル部門ではまだまだ元気なようだ。特に歯科関係ではMacを使用している方が多いように感じる。ここでは、ある歯科医院のコンピュータの活用事例を紹介や、学会などさまざまな情報を紹介している。ホームページナビゲーションのコーナーでは現在、歯科医院のホームページを紹介しリンクしている。

Mac派の筆者が最近読んでいる本は“MacからWindowsに乗り換える本”ではあるが、今後のMacの動向が気になる。本当はやはりビル・ゲイツよりスティーブ・ジョブスのほうが好きなのだが…



水村竹宏氏のホームページ

Lab.ART's(T.mizumura's)HomePage
<http://www2n.meshnet.or.jp/~m-lab/>



筆者のコンピューターの師である水村竹宏氏のホームページ。季節ごとに変わるトップページの画像は少し地味な感じを受けるが、真面目で飾らない氏の雰囲気を感じ出されている。ベジタリアンの部屋や塩の話、歯科金属とアレルギー、ミニ四駆の部屋などがあり、どれも大変ためになる。

Lab.ARTのページではセラミックやコンビネーションデンチャーなどのケースが画像とともに掲示されている。他にデジタルカメラの比較などのコーナーもあり参考になる。また氏が主催する歯科技工のメーリングリストの入会のコーナーもある。

スイスCM社のホームページ
Cendres&Metaux SA
<http://www.cmsa.ch/FrameE.htm>

歯科用メタル、アタッチメントやミリングマシンで有名な、スイスのCM社のホームページ。歯科部門だけでなく、ジュエリーやリサイクルのページも開設されている。歯科部門のページは最新のアタッチメントや合金の紹介がされている。

そういえば、筆者のラボでも最近購入した陶材焼付用金属“Esteticor Helvetika(E-H)エスティコア・ヘルベチカ”が新製品として紹介されていた。

リンクのコーナーでは東京医科歯科大学につながっている。

